

## 音楽は“時間の芸術”

校長 矢島 加都美

「音楽」は、ホールなどの舞台上で演奏された瞬間、すぐに消え入ってしまいます。

『合唱祭』本番の舞台上での演奏時間は、課題曲と自由曲を合わせてもせいぜい7～8分程度。しかも、そのわずかな時間に演奏される「音楽」は、一瞬のうちにホールから消えてなくなってしまう。残るものといえば、心の中の記憶くらいでしょうか。

しかし、そのわずかな演奏時間のために、生徒の皆さんは、何時間も時間をかけて繰り返し練習し、本番に臨みます。その上、ステージでは、一度発した音を消しゴムで消したり、修正したり、演奏し直したりすることができません。それだけにどのクラスも、どの生徒たちも相当な緊張感をもって、一つ一つの音を全部大切に、消えゆく一瞬一瞬を逃すことなく、出だしの一音から最後の一音まで懸命に演奏するのです。

ですから、VRでの旅行体験が、実際に観光地等に赴いて体感する本物の旅行にはとても及ばないように、CDやDVDによる鑑賞では得られない、ライブパフォーマンスと相互の鑑賞といったかけがえのない経験を、町田市民ホールで体験することができるのです。

「音楽」そのものや舞台上の演奏者の姿は、記憶には残るものですが、それだけでない、その演奏を体験することのみでしか得られない、形にはならないけど美しく温かい何か、心に残るように。大舞台上で素晴らしい演奏を繰り広げ、“時間の芸術”の醍醐味を味わってください。